

《前橋女子高等学校 イギリス研修 Day8 (3月16日) 報告書》

今朝のケンブリッジも快晴です。ここ一番の青空が広がっていました！今日は7:30から各家庭にタクシーが迎えに行くことになっており、続々と語学学校 Studio Cambridge に生徒たちが送り届けられます。しかも、そのほとんどがメルセデス、アウディなどの高級車。何とも luxury な送迎風景でした。

こちらのタクシーやチャーターバスは本当に時間に正確です。中には7:30前から迎えがきていたペアもいるとのこと。一方で電車や路線バスなどの公共交通機関は非常に大らかな運行であり、その対比が面白くもあります。タクシー、Uber、バスのドライバーは移民の方が多くのも特徴的です。本日のロンドンまでのチャーターバスのドライバーREMIさんはポーランドのご出身とのことで、そのいかつい風貌からは想像できない程の繊細なドライビングテクニックと、心遣いも素晴らしく、ロンドンから同乗してくれたガイドの由美子さんも、「素晴らしいドライバー！こういう方と仕事をしたい」と絶賛でした。

Cambridge を出発し、バスに揺られること約1時間半、ロンドンに到着いたしました。ロンドン塔でイギリス在住歴40年以上のベテランガイドの由美子さんと合流し、タワーブリッジを眺めながら束の間のフリータイムです。この先トイレに立ち寄りづらくなるため、50ペンスを払って公共トイレも利用します。まるで地下鉄の改札のような入り口で50ペンスコインを投入するか、クレジットカードをかざすとゲートが開く仕組み。これも現地ならではの体験ですね。

その後車窓からロンドン市内をぐるっと見学。週末のロンドン是人出がとにかく多いです。特に観光名所はスリも多いとのことで、貴重品は必ずバックの奥に、荷物は前に持ってきて手で押さえるなど、隙を作らないことが大事と由美子さんも繰り返し伝えてくれました。バッキンガム宮殿にてバスを降り、宮殿前のグリーン・パークで、穏やかな春の日差しを浴びながらファミリーが持たせてくれたランチを頬張りました。芝生の上が見事に昨夜の雨で濡れていたため、皆立食です。

ナショナル・ギャラリーでは、ダヴィンチの「岩窟の聖母」、フェルメールの「ヴァージナルの前に立つ女」、ゴッホ（ひまわりは、Vincent のサイン入りの貴重なもの）、モネ、そしてイギリスを代表するターナーとコンスタブルなど、由美子さんにガイドいただきながら鑑賞しましたが、本当に彼女の話が面白く皆真剣に聞き入っていました。絵の捉え方・感じ方は人それぞれだと思いますが、宗教画などは特にその絵が描かれた背景を知ること、より深みが増すのだと感じました。

ホテルにチェックインし、少し早い夕食はホテルビュッフェです。Studioのカフェとはまた違った（胃が1週間ぶりにホッとするような）メニューを堪能し、再度バスに乗り込み、Lion King が上演される Lyceum Theatre (ライシウム・シアター) へ向かいます。夜のロンドンはまだ違った美しさと格式の高さに溢れており、一日歩き回って疲労MAXの生徒たちも一気に目が覚めたようです。

Team Lion は日本びいきのスタッフの方の「みんな！いくぞ！」の掛け声でシアターに入場、3階席にて2時間の上演を楽しんだ様子。（大音響の中、気持ちよくお休みした生徒もいたかな。）

Team non-lion は、少人数ながら、シアターで別れ、マイフェア・レディでお馴染みのコヴェント・ガーデンへ向かいました。こちらも夜のマーケットやショッピング（と言っても高級店ばかり）、老舗紅茶ブランドの Wittard で Evening tea (=試飲) を嗜みました。茶道部の先輩・後輩コンビは、帰国後紅茶クラブを立ち上げるそうです。こちらのチームは本隊に先がけ、地下鉄でホテルまで戻りました。

23時過ぎにミュージカルチームが帰還。長い1日でしたね。Cambridgeでのハードな研修のご褒美として明日もロンドンを堪能しましょう。明日は地下鉄も体験しながら、大英博物館見学です。イギリス最後の夜が更けていきます。



1 週間お世話になった Studio Cambridge / Cambridge の太陽がまぶしい！！



バッキンガム宮殿を背景に / London の太陽がまぶしい！！



the Tower of London でガイドの由美子さんと合流



セント・ポール大聖堂



グリーン・パークで昼食（立食）



ウェストミンスター寺院



ナショナル・ギャラリー



【チーム ライオン・キング】ミュージカル鑑賞



【チーム 紅茶クラブ】地下鉄体験

